

虹の架橋

今月の題字

上戸政萬 (あがとまさみつ) さん
(岩手県紫波町・酒仕込の期間は大間々在住)
近藤酒造(株)の杜氏(とうじ)さん。上戸さんの勘と経験と酒造りへのひたむきな情熱が淡麗辛口の清酒『赤城山』を全国新酒鑑評会4年連続金賞受賞に導きました。

大間々東中学校『立志の集い』記念
荒川洋フルートコンサート

みどり市立大間々東中学校では2月8日に、毎年恒例の『立志の集い』が行われます。『志』とは、目標に向かって行動していく過程で、人を感動させることができるかどうか。そして、自らも感動しつづつ、それを継続できるかどうか『志』の大切な要素だと思えます。大東中では、式典のあと、新日本フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者の荒川洋さんとピアノのうえだようさんによる記念コンサートを開催。一般の方々も自由に参加できます。



日時: 2012年2月8日(水)
立志式: 13:30より
コンサート: 14:00より
会場: 大間々東中学校体育館
☆ご来場の際は、スリッパをご持参下さい。(入場無料)



小耳にはさんだ

いい話
(文責・靖)
《198》

サッカー日本女子代表の佐々木則夫監督が書いた『なでしこ力』(講談社)という本を読んで感動しました。日本代表の選手たちは、なでしこのイメージにあやかり、ひたむき、芯が強い、明るい、礼儀正しいという4つの心を大切にしてきました。佐々木監督が選手たちに求めたものは、サッカーの能力だけではなく、きちんとした振舞いや習慣を身につけてほしいということでした。

小学校4年生でフルートを始めた荒川さんは、国立音楽大学を卒業後、フランスへ留学。1997年、パリ国立音楽院フルート科を首席で卒業。帰国後は小澤征爾さんに認められ、現在は新日本フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者として国内はもとより海外でも幅広く活躍中です。音楽を通して多くの人に感動を与え続けている荒川さんの演奏は立志式を迎える生徒や私達の心に深く響くと思います。荒川さんは、5年前もながめ余興場でチャリテイコンサートを開催しました。家族や人と人の絆を大切に、大間々に来るのが楽しみと言っている荒川さんのコンサートにご参加下さい。

なでしこ力

あるとき、宿泊施設でミーティングを行うために選手たちを呼びました。その声に気づかなかつた二人の選手が後から慌てて会議室に入ってきました。佐々木監督はその二人を叱らず、会議室にいる全選手にこう言ったそうです。「なあみんな、自分は気づいたのに、どうしてあの二人に教えてあげなかつたんだ」互いが協調しあつてこそ実現する。選手たちはその日を境に、ピッチの外でも互いに声を掛け合うような習慣が身に

世界一小さな
定利屋
トイレ美術館



今月の作品 《198》
庄村昌子さん『押し花・雪割草』

10年来の親友である庄村昌子さんの押し花作品は、2004年にパリのルーブル美術館に展示され、印象派賞を受賞しました。庄村さんは小さな花たちに限りない愛情を注ぎ、「きれいに映かせるからね」と言葉をかけながら押し花作りを続けています。「私の押し花作りの原点は、お世話になった方への恩返しです」と語る庄村さんの作品は、色あせることなく何年も咲き続けています。今月は『雪割草』の押し花を展示します。花言葉は信頼・優雅・高貴。寒い中でも春の足音が近づいてきています。

うです。



佐々木監督は「成功の反対は失敗ではない。やらないことだ」と言っています。ある試合で、ゴール前の混戦でなでしこの選手が体ごとボールに向かって得点しました。試合後、「体どこに当たった?」と聞かれた選手は「体じゃなくて、心」と答えたそうです。この本は去年1月に出版されました。本のサブタイトルに「さあ、一緒に世界一になろう」と書いてあった通り、出版から7ヵ月後のワールドカップで見事に優勝を果たしました。

靖ちゃん日記

1月20日(金)
大間々駅トイレ掃除の朝。予報通りの雪だ。右手にホースとポットを持ち、左手に掃除道具の入ったバケツを持って、長靴をはいて暗い道を駅へ向かった。13年前の大雪の日のことを思い出した。あの日、掃除仲間のK君がたまたまひとり掃除をしてくれたお蔭で、1週も途切れることなく、75回目の今日がある。あの日の朝の彼の気持ちは思いやう。一歩一歩、雪を踏みしめて歩いた。今日は誰も来られないうちから来た。思ったが、下さんとJさん外来ていた。6時には8人も集った。嬉しくて、心外ホカホカになった。帰り道は足どり外軽かった。駅の方を振り返ると、雪道に長靴の足跡がくまりに残っていた。「僕の前には道はない、僕の後ろには道はできる」と、高村光太郎の詩を思い出した。外に靴の長靴の足跡が。ハハハ、と笑っているように見えた。良い一日が始まる予感があった。スキップをしようとして飛び出した。跳ねたらスリッパをした。

あと5分毛布引き寄せ二度寝かな

毎朝5時20分に目覚しが鳴ります。「あと5分、あと2分」と思いながら毛布を首まで引き寄せると、その暖かさに幸せを感じます。去年の震災直後、避難所で出会った人たちの笑顔を見て以来、「幸せはいつも自分の心が決める」という相田みつをさんの言葉を実感しています。布団で寝られる幸せ、布団から起き出せる幸せ、夫婦と愛犬で散歩できる幸せ、手帳に予定が書き込まれている幸せ。平凡な日常が一番幸せなことだということを忘れたいと思います。

虹の架橋

検索

で、インターネットからでもご覧いただけます。

第199号は3月1日(木)発行予定です。

靖ちゃんの似顔絵提供: ひさかさん

